

特別支援学級（つくし）生活単元学習指導案

学 級 1年男2名 2年男1名
 6年男1名 計4名
 指導者 担 任：高橋 恵子（T1）
 支援員：高野 瑞穂（T2）

1 単元名 わくわくランド②
 「パンをつくって とどけよう」

2 単元について

(1) 児童について

本学習グループは、自閉症の1年生男児1名と2年生男児1名、アスペルガー症候群の1年生男児1名、自閉症・情緒障がいの6年生男児1名の計4名で、日常生活や授業及び様々な活動の中で共に関わり合う場面を設定し、よりよい関係がもてるよう一緒に活動を行っている。

本単元に関わる個々の児童の実態は、以下の通りである。

	実 態
A 男 (自・情) 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを一方向的に話すか、うまく伝えられないことが多い。相手を見て話を聞くことが苦手である。 ・絵描きやブロック遊びなどの一人遊びが多かったが、少しずつ友達と一緒に遊べるようになってきた。 ・買い物や調理などの経験は少ないが、初めてのことに意欲的に取り組む姿が見られる。
B 男 (自・情) 1年	<ul style="list-style-type: none"> ・明るくて人懐っこい。初対面の大人にも進んで話しかけコミュニケーションをとろうとするが、友だちとの関わりは少ない。 ・相手の気持ちや周りの状況を理解することが苦手で、気になったことや自分の思いを一方向的に話し続けることが多い。 ・生活経験が乏しかったが、初めての活動にも興味をもち、みんなの真似をしながら楽しく取り組むことができる。
C 男 (自・情) 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで会話ができ、内容を詳しく話すことができる。 ・不安や緊張する場面があると、吐き気など体調にすぐ表れる。 ・体を動かすことが好きで、友だちと仲良く遊ぶことができる。 ・家庭では、母親と一緒に包丁を使ったり、茶碗洗いをしたりする手伝いをしている。調理にとっても興味をもっている。 ・擬似貨幣を使って正しく買い物ができる。
D 男 (自・情) 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活での会話は一方向的になることが多く、会話として続かない。同じことを何度も繰り返し言ったり聞いたりすることで安心する。 ・食べることに興味があり、家庭での買い物経験も多い。自分で買う物を選ぶことができるが、お金を払ったり調理したりする経験は少ない。 ・算数の授業の中で、擬似貨幣を使いながら買い物の練習をしてきた。代金をぴったり出すことはできるようになったが、支援が必要である。

(2) 単元について

本単元は、年間を通して3回実施する『わくわくランド』シリーズの2回目である。1回目は「やさいをつくってたべよう」、2回目は「パンをつくってとどけよう」、そして3回目は「みんなであそべるおもちゃをつくろう」である。繰り返し活動することで見通しをもち、経験を生かして意欲的に活動できるものとする。

1学期の「やさいをつくってたべよう」では野菜作りを経験し、調理して楽しむことができた。自分たちが育てた野菜ということで、丁寧に作業をしたり、大事そうに食べたりする姿が見られた。育てた野菜を調理して食べることは、子どもたちにとってより意欲的に取り組むことができる活動であった。さらにいろいろな調理にも挑戦したいという気持ちも出てきた。また、レジでお金を払う経験をしたことで買い物に興味をもつことができた。1学期は個々の活動に重点をおいたため、友だちと関わり合う場が少なかったことが反省としてあげられる。

2学期は「パンをつくってとどけよう」の学習を計画した。1学期に「からすのパンやさん」の本を読み聞かせた時、子どもたちがパンやさんに大変興味をもち、自分たちもパンを作りたいという思いをもった。そこで、町のパン屋さんに行き、実際にどのようなパンが作られているのか、どんなパンが売られているのか見学し、自分たちで作りたいという意欲をもたせたいと考えた。特に、人とのコミュニケーションをとることが苦手な子どもたちの実態から、普段お世話になっている交流学級の友だちや先生方に作ったパンを届ける場を設定し、感謝の心や態度を育てる機会にしたいと考えた。

また、買い物の場面では、自分で買うものを選んだり、お金を払ったり、お店の人とコミュニケーションをとったりと、実生活に結び付いた活動を行うことで、児童の自立的な生活に必要な力を育てることができる単元である。

(3) 指導に当たって

次の3点に力を入れて指導を進めていきたい。

1点目は、学習の見通しをもって進めていくことである。「交流学級の友だちに喜んでもらえるパンをつくろう」という活動のめあてを常に確認することで、意欲的に参加できると考える。また、おもてなしの活動の前に実際にパン作りを体験し、作業の仕方を分からせることで、活動の見通しをもたせていく。感謝の言葉については、練習をすることで安心して交流学級の友だちに言葉かけができるようにしたい。

2点目は、視覚的な情報を活用することである。興味・関心をもたせ活動への意欲を高めるために、単元全体の流れが把握できるように掲示するとともに、1時間の学習の流れも視覚的に分かるように板書や掲示物を工夫していく。パン作りでも、手順カードや写真などの視覚的教材を使って作り方を提示したい。

3点目は、児童の実態に応じて役割分担を行い、できるだけ子どもたちができるようにしたい。パン作りでは、それぞれの実態に合った仕事を設定し、自分の役割を果たせるようにしていきたい。

(4) 振り返りについて

振り返りでは、自分や友だちのよかったことなどを発表し、お互いの頑張りを認める場としたい。また、話型や表情カードなどを示し、自己表現できるようにしたい。

3 単元の見通し

- (1) 見通しをもって活動に取り組むことができる。
- (2) 店に出かけ、見学やインタビューをしたり、目的の材料を買ったりすることができる。
- (3) 調理の手順に従ってパンを作ることができる。
- (4) ありがたいの気持ちを込めて、おもてなしの仕方が分かる。
- (5) 協力して最後まで取り組むことができる。

4 指導計画（9時間）

次	時	学習活動	評価規準				
			A男	B男	C男	D男	
一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・『からすのパンやさん』の読み聞かせを聞き、新しい単元に興味をもつ。 ・単元の見通しをもつ。 	1学期の「やさいをつくってたべよう」の学習での調理経験を思い出し、2学期は「パンやさん」になって交流学級の友だちをおもてなししようというわくわくした気持ちをもっている。				
二次	2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・パンやさん見学の順番やインタビューの仕方を確認する。 ・模擬パンやさんを使って、見学や買い物の仕方を練習する。 	元気に挨拶をしている。 お店の人を見ながらインタビューしている。		トングを使ってパンをトレイにのせて買うことができる。		必要なお金を出してパンをかうことができる。
	3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> ・パンやさんを見学し、お店の人にインタビューをする。 ・パンを選んで買い物をする。 	練習通りにお店の人にインタビューをし、忘れないようにメモをしている。				
三次	5	<ul style="list-style-type: none"> ・お店で材料を見つけて買う。 ・安全に気をつけて道路を歩く。 	自分が買うものが分かり、メモしている。		友だちと一緒に材料を見つけて、必要なお金を払って買い物をしている。		教師と一緒に材料を見つけたりお金を払ったりしている。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・作り方の順番を確かめ、実際にパンを作ってみる。 ・渡すときの言葉や渡し方を考える。 	教師と一緒に手順を確かめながら作っている。		自分の役割が分かり、手順にそってパンを作っている。		
	7 ・ 8	<ul style="list-style-type: none"> ・手順カードにそってパンを作る。 	役割を交代しながら、楽しく作っている。				
四次	9	<ul style="list-style-type: none"> ・練習してから交流学級にパンを届けに行く。 ・活動を振り返る。 	二人一緒に、大きな声で感謝の言葉を話している。		恥ずかしがらずに感謝の言葉を話している。		大きな声で感謝の言葉を話している。
			学習計画表を見ながら、活動の振り返りをしている。 自分の言葉で感想を発表している。				

5 本時の指導（2/9）

（1）本時の指導に当たって

前時は、いよいよわくわくランドの2回目が始まること、みんながずっと楽しみにしていたパンを作ること、そして交流学級の人々にパンを届けるという単元の流れを丁寧に確かめた。本時は、みんなに喜んでもらえるパンを作るためにパン屋さん見学のリハーサルをする。インタビューをしたり買い物をしたりする活動を通して、人と関わることができる場にしたい。

（2）本時の目標

- ・お店の人に聞こえる声であいさつやインタビューをすることができる。
- ・自分でパンを選んで買うことができる。

（3）個別の目標

A男	B男	C男	D男
<ul style="list-style-type: none"> ・お店の人の顔を見て話すことができる。 ・パンの買い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりした声で話すことができる。 ・パンの買い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えをメモすることができる。 ・必要なお金を出して買うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしてあいさつができる。 ・必要なお金を出して買うことができる。

（4）展開

別紙

（5）板書計画

わくわくランド② 「パンをつくってとどけよう」

めあて

パン屋さんけんがくの リハーサルをしよう。

①パンやさんにインタビューしよう。

②おみせでパンをかおう。

めあて

A男	B男	C男	D男
----	----	----	----

ふりかえ

A男	B男	C男	D男
----	----	----	----



きょうの学しゅう

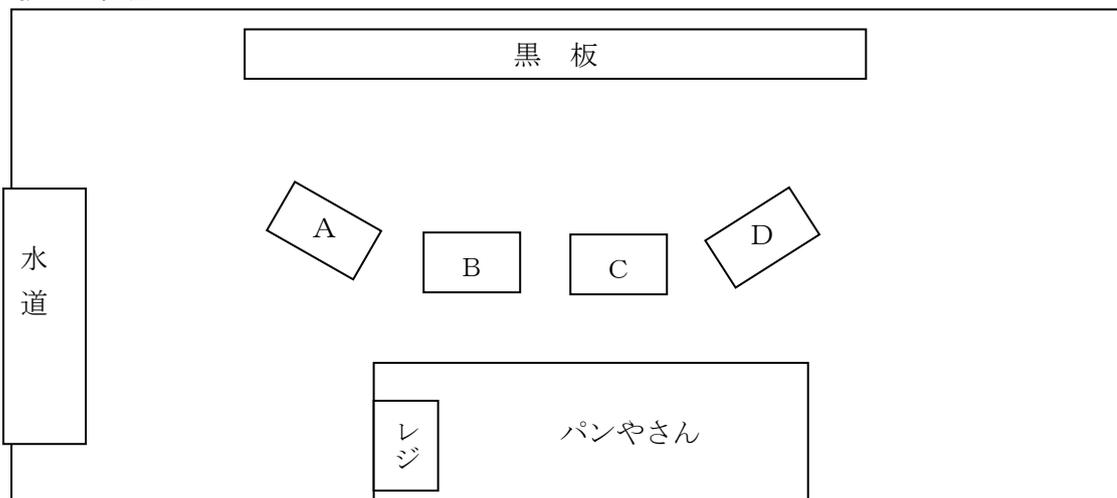
①きょうのめあて

②れんしゅう

③かいもの

④ふりかえり

（5）教室配置図



(4) 展開

段階	学習活動	・活動 【評価】				○指導上の留意点 ◆個別の支援
		A男	B男	C男	D男	
つかむ (5分)	1 学習の流れを確認する。 2 本時のめあてを確認する。 パンやさんけんがくの リハーサルをしよう。	・学習の流れを知る。(黒板に掲示)				○学習の流れを提示し、本時の見通しをもたせる。 ○一人一人のめあてカードを掲示することで、自分のめあてを最後まで意識することができるようにする。
活動する (35分)	3 パン屋さん見学の実習をする。 ①インタビューのしかた ・モデルインタビューを見て考える。 ・お店の人(T2)にインタビューを試みる。 ②パンの買い方を確かめる。 ・トングとトレイの使い方 ・レジでの支払いの仕方 4 見学のリハーサルをする。 ・見学の準備をする。 ・お店を見学し、インタビューをする。 ・パンを買う。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・T1のモデルを見て、声の大きさや視線など気付いたことを発表する。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・お店の人の顔を見て話す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・T1のパンの取り方やお金の出し方など、気付いたことを発表する。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・パンを落とさないようにトングをしっかりと握ることに気付く。(T1のモデル)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物を持って、自分の場所に並ぶ。 ・上級生のやり方を見て、恥ずかしがらずに相手を見てインタビューをする。 【自分から相手を見ている。】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・パンを選んだら落とさないように注意してトレイに入れ、レジでお金を払う。(T1の支援)</div> <ul style="list-style-type: none"> 【自分で選んでパンを買っている。】 	<ul style="list-style-type: none"> ・口を開けてしっかり話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の場所に素早く並ぶ。 ・きょろきょろせずに相手を見てインタビューをする。 【相手に聞こえる声で話している。】 <ul style="list-style-type: none"> 【自分で選んでパンを買っている】 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを見ずに話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・1年生のお世話をしながら後ろに並ぶ。 ・自信をもってインタビューをし、答えを忘れないようメモする。 【はっきり話し、答えをメモしている。】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・必要なお金を出してパンを買うことが分かる。(T1のモデル)</div> <ul style="list-style-type: none"> 【必要なお金を出してパンを買っている。】 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2と一緒に考える。 ・リーダーとして進んであいさつをし、メモを見ずに話す。 ・T2と一緒に考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなを並ばせる。 ・始めと終わりのあいさつをする。(T2の支援) ・メモを見ないでインタビューをする。 【リーダーとして進んであいさつをしている。】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・必要なお金を出してパンを買っている。】</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○T1(お客)とT2(パン屋)のモデルインタビューを見て、聞く時の視線や声の大きさに注意を向ける。 ◆T1がうまくできないところに気付かなかったときは、動きを止めて一つずつ確かめる。 ○T1の買い物モデルを見て、パンの買い方やお金の出し方に注意を向ける。 ○めあてができたとき、しっかりほめる。 ◆整列場所にテープを貼っておく。 ◆並ぶ順番は、事前に決めておく。 ○お店での約束をカードで視覚的に確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ①あるく ②しずかにする ③トングをつかう ○楽しい雰囲気インタビューや買い物ができるよう工夫する。(看板・パン・レジスター・トング・トレイ・パン屋の服装など) ○次時の買い物がスムーズにできるように、本物のお金を使用する。 ◆出すお金が分からないときは、T1と一緒にお金を出す。
振り返る (5分)	6 活動の振り返りをする。 ・感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで感想を発表する。 ・お店の人と話した感想も発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで感想を発表する。 ・初めて一人で買い物をした感想も発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで感想を発表する。 ・友だちのがんばったところも考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの発表を聞いてから感想を発表する。 ・T2と一緒に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話型を提示して振り返りができるようにする。 ○次時は本物のパン屋さんに行くことを話し、わくわくする気持ちをつなげていく。